

図書館へいこう!

話題の新作本

「骨を吊う」 宇佐美まこと / 著

骨格標本が発掘された、という新聞記事を見つけた豊は、小学生時代、仲間と山中に骨格標本を埋めたことを思い出す。「あれは本当に標本だったのか」…。



「ゲーム・メーカー」 池上司 / 著

東京湾で大型商船2隻が続けて爆発した。当初事故かと思われた事案は、海中に仕掛けられた機雷の爆発と判明し、日本はかつてないテロの恐怖に晒される。



「雨降る森の犬」 馳星周 / 著

家族とのわだかまりを抱えた中学生の雨音は都会を離れ、蓼科に住む伯父のもとに身を寄せる。そこには、フルテルという犬がいて…。犬が導く喪失と再生の物語。



「罪びとの手」 天祢涼 / 著

遺体となって発見された葬儀屋の父。「葬式はあげないでくれ」という遺志を無視して父の葬儀を強行しようとする次男。遺体は父ではないと断言する長男。様々な思惑と矜持が衝突する葬儀屋ミステリー。



「火影に咲く」 木内昇 / 著

沖田総司と布来、高杉晋作と君尾、中村半次郎とおさと…。幕末の京を駆けた志士と、想いを交わした女たち。彼らが生きた、かけがえのない一瞬を鮮やかに描き出す珠玉の短編集。



「しない。」 群ようこ / 著

通販で買わない、不要な付き合いをしない…。快適な生活のための「しないこと」リストから、心地よい日常を呼ぶヒントを伝える。



「もう「はい」としか言えない」

松尾スズキ / 著

映画監督&俳優の五郎は妻から逃げてパリへ行く。妻より怖ろしい悪夢が待っていることを知らずに…。



「作家がガンになって試みたこと」

高橋三千綱 / 著

胃ガンが見つかった時、医師の奨める手術を拒否し、医療漂流が始まった。再生医療、民間療法、先進医療…。自らが納得できる治療法を求め続けた著者が選んだ道は…。



8・9月のイベント情報

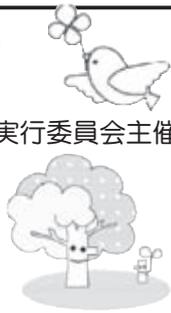
8/17~22 原爆の絵展
(原爆の絵をみる会実行委員会主催)

8/18 14:00~ おはなし会

8/18~19 古本リサイクル市

8/25 14:00~ おはなし会

9/2 14:00~ おはなし会



休館情報

8/28(火)~31(金)

蔵書点検のため休館します

ご不便おかけしますが、
ご理解とご協力をお願いいたします。
9/1(土)から通常開館します。



今月のBEST本 (6月の貸出回数上位本)

「向こう側の、ヨーコ」

真梨幸子 / 著

独身生活を謳歌する陽子には、幼い頃からよく見る夢があった。もう一人の私、かわいそうなヨーコが出てくる夢。境遇の異なる二人の世界が交わるとき――



「ありがとうって言えたなら」

瀧波ユカリ / 著

余命宣告、実家の処分、お墓や遺影のこと、最後の旅行。決して仲のいい母娘じゃなかったからこそ、今伝えたいことがある…。「母の死」を真正面から描いたコミックエッセイ。

